

研究機関名：東北大学

受付番号：2016-1-174
研究課題名 大腸がんの分子診断法開発に関する研究
研究期間 西暦 2015年 11月（倫理委員会承認後）～ 2020年 10月
対象材料 ■病理材料（対象臓器名 大腸） ■生検材料（対象臓器名 大腸） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（ ）
上記材料の採取期間 西暦 2000年 1月～ 2016年 4月
意義、目的 本研究は大腸がん術後の再発リスクの予測法および抗癌剤感受性の予測法を開発するためのものです。再発リスクの予測が可能となれば、低リスクの方では術後の補助化学療法を避ける、高リスクの方ではより強力な化学療法を選択するなど、オーダーメイドの医療が可能となります。また抗癌剤の感受性を予測可能となれば、より有効な化学療法を選んで治療を行うことが出来るようになるかと予想されます。
方法 大腸がんの手術標本の一部や生検組織を使用し、癌細胞から DNA、RNA を抽出します。DNA は癌関連遺伝子の変異解析、次世代シーケンサーを用いた全ゲノム解析、ゲノムコピー数解析(CGH 解析)、ゲノムメチル化レベルの網羅的解析に使用します。正常細胞から抽出した DNA の結果と比較することで、後天的なゲノムの変化を検出します。RNA はマイクロアレイなどの遺伝子発現解析で使用します。また、大腸がん関連タンパク質や免疫関連タンパク質等の免疫組織染色を行います。これらの結果と再発の有無、抗癌剤の治療効果を統計学的に検討し、関連性の認められる因子を抽出します。
問い合わせ等の窓口 東北大学病院・腫瘍内科 電話 022-717-7879 FAX 022-717-7674 担当者 高橋 信、大内康太、小峰啓吾、高橋雅信、城田英和、下平秀樹、石岡千加史